

ぐんま

企業探訪

—189—

東金属 (太田市新田反町町)

自動車メーカーや部品製造会社が金属を加工する際に生じる廃棄物を回収し、切断、破碎、圧縮といった中間処理を施して製鋼原料として販売している。産業廃棄物の収集運搬

最新技術で再資源化

から再生まで担う総合所に移転した。

リサイクル業のノウハウを生かし、近年は使用済み小型家電のリサイクルにも力を入れ、事業に参入。17

製鋼原料販売会社として1955年に東京都江戸川区で設立。69年に現在の本社工場の敷地にあつた同業者の経営を継承し、フロン回収など産業廃棄物処理の幅を広げた。

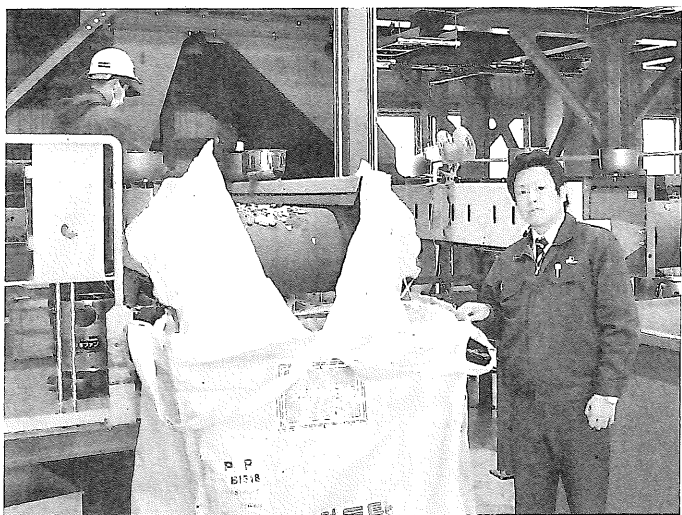
技術の高さや充実した設備がリサイクルを推進するヤマダ電機(高崎市)に評価され、2012年に完全子会社となり、本社は、従業員が検品して

再利用が可能であれば製品として取り置く。18年度は約65万台を取り扱った。本年度は80万台を超える見通しだ。

再販できない9割以上の機器は手作業で分解した後、機械で粉碎。4月に導入した光学選別機など最新機器を駆使して、金属やプラスチック類を再加工

再販できない9割以上

現在の工場は「見える化」を進めている。



見学体制を整え、多くの人に訪れてもらうことで環境維持に取り組む業種に親しんでもらいたいと考える。関口

貴士営業副本部長は「人の目に触れることで業務意識が高まる。今後も設備投資を続け、技術の高度化と自動化を同時に進めていきたい」と話している。

最新機器を駆使したリサイクル技術の高さをPRする関口副本部長

企業データ

太田伸一社長。従業員80人。本県と埼玉県に4拠点を構える。ヤマダ電機グループの国内約1200店舗から集まる小型家電を処理し、取扱数量は全国54社ある認定事業者の中でも上位に入る。